

# 野田地域感染症情報



NODA  
Public Health Center

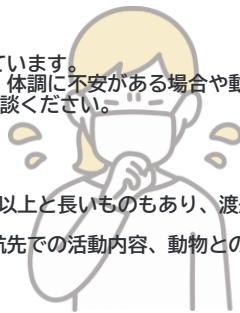
## 帰国時・帰宅後に体調が悪くなったら・・・

### 【帰国時】

- ・空港や港に設置されている検疫所では、渡航者の方を対象に健康相談を行っています。
- ・帰国時に発熱、咳、発しん、下痢などの症状があったり、具合が悪かったり、体調に不安がある場合や動物に咬まれた、蚊に刺されたなど渡航先での出来事で健康上心配なことがありましたら、検疫官へご相談ください。

### 【帰宅後】

- ・感染症には、潜伏期間（感染してから発症するまでの期間）が数日から1週間以上と長いものもあり、渡航中又は帰国直後に症状がなくても、しばらくしてから具合が悪くなる場合があります。
- ・その場合は、医療機関を受診し、渡航先、滞在期間、現地での飲食状況、渡航先での活動内容、動物との接触の有無、ワクチン接種歴などについて必ず伝えてください。
- ・その他不安があれば、最寄りの保健所にお問い合わせください。



### 海外で注意すべき代表的な感染症

#### 1. 蚊やマダニなどが媒介する感染症

- ・マラリア
- ・デング熱、デング出血熱
- ・ジカウイルス感染症
- ・チクングニア熱
- ・黄熱
- ・ウエストナイル熱・ウエストナイル脳炎
- ・ダニ媒介脳炎

#### 2. 動物からうつる感染症

- ・鳥インフルエンザ（H5N1、H7N9）
- ・狂犬病：イヌ、コウモリ、キツネ等多くの哺乳動物
- ・中東呼吸器症候群（MERS：マーズ）：ヒトコブラクダ

#### 3. その他、諸外国で注意すべき感染症

- ・細菌性赤痢
- ・麻しん（はしか）
- ・風しん
- ・ポリオ
- ・エムボックス など

### ■海外で注意しなければいけない感染症【一覧】

▼ 引用・参考 海外へ渡航される皆さまへ！（厚生労働省 FORTH）

## 世界での麻しん報告の増加について

### 世界の状況

麻しんによる死亡者数は2000年以降88%減少したが、症例は急増しています

- 世界保健機関（WHO）の最新報告書によれば、2000年から2024年の間、世界的な予防接種の推進によって麻しんによる死亡者数は88%減少し、ワクチン接種によって約5,900万人の命が救われました。しかし2024年においても、主に5歳未満の子どもを中心に推定95,000人が麻しんで亡くなっています。この数字は2000年以降で最も少ないものの、ワクチンで予防可能な病気による死者が依然として発生していることは容認できないとされています。
- 一方で、死亡者数は減少しているものの、麻しんの感染者数は世界的に急増しており、2024年の感染者数は1,100万人に達すると予想されています。これはパンデミック前の2019年よりも80万人多い数字です。特に、WHO東地中海地域で86%、ヨーロッパで47%、東南アジアで42%と、各地域で症例数が大幅に増加しています。一方、アフリカ地域では予防接種率の向上が功を奏し、症例数が40%、死亡者数が50%減少しました。
- 近年の麻しんの流行は、栄養状態や医療体制が比較的良好な国や地域で多く発生しています。死亡リスクは低いものの、感染者は失明や肺炎、脳炎といった重篤な合併症の危険性が残っています。
- 予防接種の普及率は依然として十分ではなく、2024年時点で麻しんワクチンの1回目の接種率は84%、2回目の接種率は76%にとどまっています。これは前年より改善したものの、WHOが推奨する流行防止ラインである2回95%には達していません。その結果、2024年には3,000万人超の子どもが十分な免疫を持っておらず、その多くがアフリカや東地中海地域など、紛争や脆弱な環境にあります。
- また、2024年には59か国で大規模あるいは深刻な麻しん流行が報告され、これは2021年の約3倍にもなります。南北アメリカ大陸以外のすべての地域で流行が報告され、2025年にはアメリカ大陸でも多くの国が流行に直面しています。麻しんの監視体制は強化され、検査件数も増加しましたが、ワクチン接種や監視のための資金が減少しており、今後の流行拡大のリスクが懸念されています。
- 麻しんの流行拡大は、世界的な予防接種プログラムや保健システムの弱点を露呈しており、予防接種率のさらなる向上と持続可能な資金確保が、今後麻しん撲滅に向けて極めて重要であると報告書は強調しています。

▼ 引用・参考 ● WHO ニュースリリース（世界保健機関（WHO） 2025.11.28

### 日本の状況

2026年第1週に大阪府で麻しんの発生がありました。

#### ■ 大阪府 麻しん（はしか）に関する注意情報（大阪府 2026.01.03）

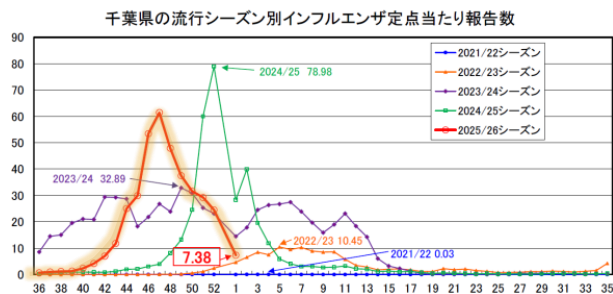
- この事例は、インドネシアへの渡航歴のある方が発症した事例です。このように、海外旅行からの帰国後に発症する事例も少なくありません。年末年始に海外へ行かれた方は、特に注意が必要です。

#### 帰国後には次の点にご留意ください

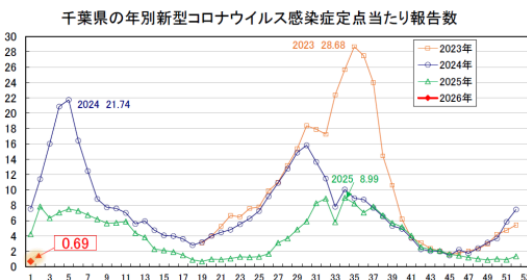
- 帰国後2週間程度は健康状態に注意してください。
- 発しん、発熱などの症状がある場合は、海外からの帰国後であることをかかりつけ医または医療機関に電話等で伝え、受診の方法や注意点を確認してから、その指示に従ってください。また、麻しんの感染力は非常に強いと言われています。医療機関へ移動される際は、周囲の方への感染を防ぐためにもマスクを着用し、公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。
- （参考情報）厚生労働省：麻しんについて

## インフルエンザ&amp;新型コロナウイルス感染症発生状況

## 第1週の千葉県内インフルエンザ発生状況



## 第1週の千葉県内新型コロナウイルス感染症発生状況



## 近隣保健所のインフルエンザ発生状況

茨城県  
竜ヶ崎 H C ▶ 24.14  
古河 H C ▶ 14.20

埼玉県  
春日部 H C ▶ 11.40  
草加 H C ▶ 8.13  
幸手 H C ▶ 25.75

▼ 引用・参考

千葉県感染症情報センター

※ 定点あたり報告数



## ネクストパンデミックに備えて・・・

令和7年度野田保健所健康危機管理推進会議・研修会の開催について

- 開催日時：令和8年1月29日（木）午後1時30分から午後3時30分まで
- 開催方法：Zoomによるオンライン開催
- 内 容：議題『新型コロナ これまで、これから』  
講師 尾身 茂（おみ しげる）公益財団法人結核予防会（JATA）理事長、代表理事 等



## AMR（薬剤耐性（Antimicrobial Resistance））情報

▲ 申込は右記2次元コードから

令和7年度野田保健所薬剤耐性（AMR）対策研修会に是非ご参加ください！

今年度のテーマは「ワンヘルスの観点からの薬剤耐性（AMR）対策」

申込は右記2次元コードから ▶

今年も上記研修会を開催いたします

- 開催日時：令和8年2月12日（木）午後1時30分から午後3時15分まで
- 開催方法：Zoomによるオンライン開催
- 内 容：講演『ワンヘルスの観点からの薬剤耐性（AMR）対策』 講師 大曲 典夫 先生  
国立健康危機管理研究機構・危機管理・運営局 感染症臨床政策部部長、国立国際医療センター 副院長、国際感染症センター長



## 野田保健所管内感染症発生状況

定点把握対象の五類感染症について、野田保健所管内では県の報告を上回る疾患はありませんでした。

しかし、年末年始を挟む期間（12/29～1/4）での報告であること、近隣市（松戸・柏市等）では、RSウイルス、インフルエンザ、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎等が県の平均を上回っていることから、野田保健所管内でも引き続き注意が必要です。



## 参考文献リンク集

- ▶ 国立健康危機管理研究機構 感染症発生動向調査週報（IDWR）最新版
- ▶ 厚生労働省・検疫所FORTH
- ▶ 厚生労働省 感染症情報
- ▶ 国立感染症危機管理研究機構（JIHS）
- ▶ AMR臨床リファレンスセンター
- ▶ 千葉県感染症情報センター
- ▶ 感染対策共通プラットフォーム（J-SIPHE）
- ▶ 診療所版J-SIPHE | OASCIS

全数把握疾患			結 核			
3類	4類	5類	活動性肺結核		活動性肺外結核	潜在性結核
0	0	3	喀痰塗抹 (+)	喀痰塗抹 (-)		
百日咳 1件、梅毒 1件			0	0	0	0
侵襲性肺炎球菌感染症1件						

バックナンバーはコチラ ▶

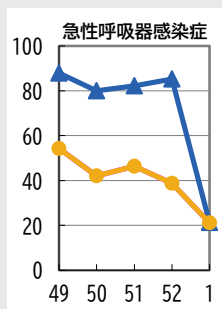
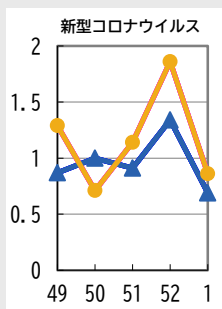
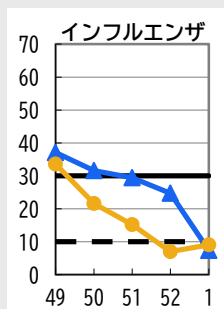
野田地域感染症情報

2026年も、  
皆さまの感染対策に  
役立つ情報を  
配信して参ります。



NDPHC  
野 田 保 健 所

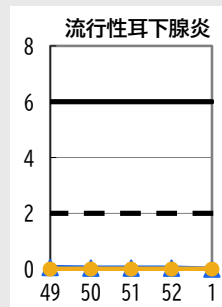
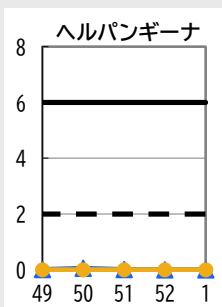
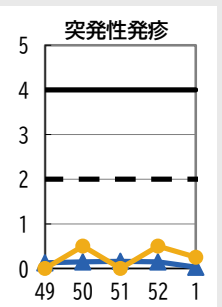
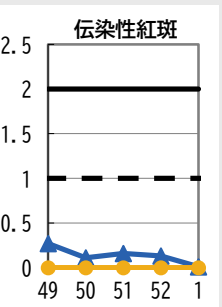
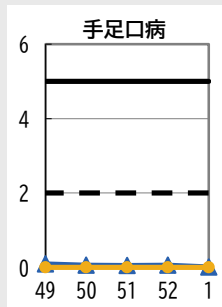
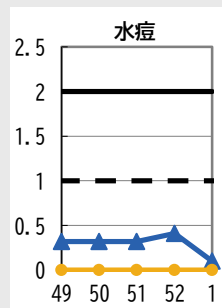
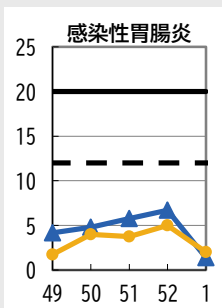
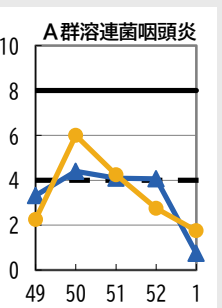
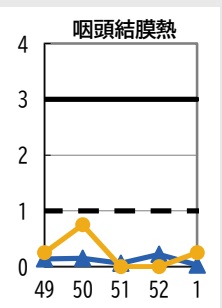
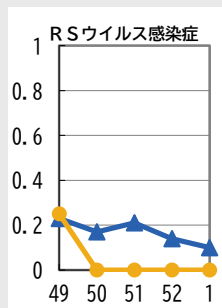
## 急性呼吸器感染症



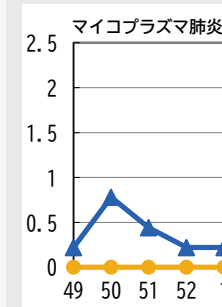
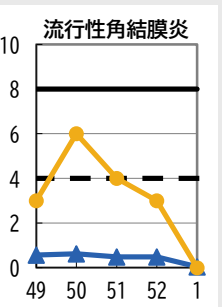
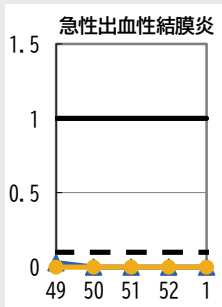
● 管内    --- 解除基準値  
▲ 県全体    — 警報基準値

マイコプラズマ肺炎は基幹定点医療機関のみ報告（野田保健所管内に基幹定点はありません）  
RSウイルス感染症・マイコプラズマ肺炎・**新型コロナウイルス感染症**は警報基準値等の設定はありません。  
令和7年4月7日より定点報告疾患に「急性呼吸器感染症」が追加されました。

## 小児科



## 眼科



## 基幹病院

### （グラフの見方）

※疾患により警報基準値は異なります

グラフの横軸は、「週数」を表します。また、縦軸は「定点あたり報告数（患者数）」を表します。「定点」とは、保健所に患者の発生を報告してくれる医療機関のことで、「定点あたり報告数」とは、定点一か所から一週間にどの位の患者報告があったかの平均値を表します。この数値により野田保健所管内の当該感染症の流行状況が把握できます。